

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年2月29日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4675300240
法人名	医療法人 拓和会
事業所名	グループホーム なでしこ
所在地	鹿児島県姶良市東餅田428-1番地 (電話) 0995-67-7230
自己評価作成日	平成28年 1月 29日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成28年2月17日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・母体医療機関に隣接したグループホームであり、24時間の医療体制が整っている。入居者の体調管理、疾患治療、救急時の対応等では医師、看護師、管理栄養士との連携や協力体制が確立されており、入居者様もご家族も安心して生活を送って居られる。
・入居者様の思いを大切にし、職員は情報の共有、ケアの統一を図り入居者様の意向に沿った支援が出来るように日々話し合いをして取り組んでいる。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当ホームは閑静な住宅街の一角に位置し、広大な敷地内には公園もあり木々や花々が植えられ、日常的な散歩コースになっており、四季の移り変わりを感じ取れる豊かな環境にある。母体である医療機関が隣接しており、24時間医療連携体制が整い、個々の医療ニーズに沿った日常的な健康管理から終末期対応に至る迄のトータルケアは本人や家族の大きな安心に繋がっている。

居室は全室が南向きで日当たりも良く、掃き出しの窓は非難誘導に容易な造りになっている。定期的に昼夜間想定非難訓練を行い、職員間の連携の確認や地域住民の協力体制も得られており利用者の安全管理は徹底されている。

管理者や職員は「優しく接する気持ち」を常に大切にしている。利用者個別の思いの汲み取りを重視し、利用者の能力や趣味を引き出し、出来る事の喜びや楽しみを見出せるように支援している。

年間計画にある花見や初詣など多彩な外出計画の他にも、日常的に外出の機会を多く取り入れ、特にイルミネーションや鬼火たき見学などの夜間外出は利用者や家族から喜ばれており感謝の声が上がっている。

今後は地域に向けた認知症啓発への取り組みや、研修や勉強会を通して職員の更なるスキルアップにも力を入れる意向であり、多方面からの情報にも目を向け、常に質の高いケアの提供を目指す管理者や職員の高い意識が伺える。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域に密着した理念を作りあげ、ホールや事務所に掲示し、スタッフ全員で共有し、実施できるように日々取り組んでいる。	尊敬の念を持って言葉使いに気を配り、「優しく接する気持ち」を常に持ち理念に繋がるケアに努めている。ホールや事務所の常に目に付く場所に掲示し月1回の勉強会で振り返りを行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会長さんに年間の行事を聞き、出来るだけ参加している。母体法人の秋祭りには、地域の方の参加も多く、入居者様も参加して地域との交流を行っている。	母体法人の祭りや地域行事に参加し地域住民との交流の機会を多く持てるように努力している。自治会長を通し情報の収集や伝達を行っている。誕生会などボランティアの慰問も多く利用者の楽しみになっている。地域に向け認知症の啓発活動も視野に入れている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	日常から認知症についての勉強会に参加し、知識を身につけている。見学の受け入れを行い、認知症についての話や、困っていることなどの相談をお聞きしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的にご家族、入居者様、地域の方々、行政、職員を交え開催し活動や現状報告、情報の共有や意見交換を行い、入居者様のサービスの向上に努めている。	家族、自治会長、行政等の参加を得た定期開催である。ホームの状況や活動報告、地域の情報収集の他、職員の研修発表の場にもなっている。歯科衛生士の家族による口腔ケアの講習を行うなど会議の内容は充実しており、ケアの向上に繋がっている。今後は参加者の幅を広げる意向もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議を通して、事業所内での実情や活動内容の理解は得られている。また、疑問等あれば相談、助言協力を頂いている。	運営推進会議への出席もあり、ホームの現状報告を通して相談や提案をもらい良好な関係を築いている。グループホーム連絡協議会にも加入しており、研修案内にも積極的に参加するなどサービスの向上に取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修参加や職員勉強会を通して、スタッフ全員で共通理解をし、身体拘束防止に努めている。転倒の危険性のある方にはセンサーマット対応や、帰宅欲求のある方には外出支援を行っている。ヒヤリハット報告書を共有して身体拘束のないケアを統一している。	職員は研修や勉強会の機会を多く持ち、身体拘束の弊害についての意識や知識を高く持ったケアに努めている。ホールに見守りを必ず一人置くことを徹底しており、職員の連携と見守りで利用者は自由で抑制のない生活を送っている。職員はヒヤリハット報告書をためらわずに出す習慣付けがなされており事故や再発防止に大きく成果を上げている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修参加や職員勉強会を通して、職員お互いが虐待をしていないか確認し合っている。入居者様に対しての言葉遣いや対応の仕方でも虐待に繋がるとい事をお互いに声かけ合い意識づけている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在活用される入居者様は居ないが、研修参加や職員勉強会を通して、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の時点で重要事項説明書や契約書を元に丁寧に説明し理解、納得をして頂いてから、契約を結んでいる。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族には毎月の便りを送り、訪問時はいつでも気軽に話して頂けるような雰囲気作りを心がけ、利用者様、ご家族からの要望、意見等をお聞きしている。入居者様、ご家族からの要望、意見等は申し送りや会議等で話し合い、共有し反映させている。	毎回、運営推進会議への出席や日々の面会も多くあり、意見や要望を聞き取る大事な機会になっている。プランに沿って利用者の状況報告をケアマネジャーが家族にすることで、詳しい情報収集が出来ており、個々に応じた能力の引出しや意見要望の把握につながりサービスに反映されている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日常から、職員の意見、提案等を聞き、話をしている。また職員会議では、意見提案が自由に発言でき、管理者に話せる環境にあり、運営に反映させている。	現場での気付きやアイデアは職員会議で話し合い改善や向上に繋げている。職員全員が資格取得者であり、管理者とは何でも言い易い良好な関係を築いている。離職率も低く利用者や家族に安定したサービスを提供している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務状況を把握している。資格を取得することにより資格手当支給があり、向上心を持って働くことが出来るように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員の現状を把握し、研修参加や資格取得を奨励し、向上心を持って働けるようにしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡協議会に加入しており、職員の研修会等への参加を積極的に取り組んでいる。定期的に研修会に参加をし、介護の質の向上も出来ている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>本人が安心、信頼して話せるように環境づくりを行う。話をゆっくり傾聴し、良き理解者となれるように、信頼関係づくりに努めている。本人の表情や行動からも思いを感じれるように努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>面会時や電話等で、ご家族の思い、意見、要望等傾聴している。入居者様の近況や思いを伝え、入居者様とご家族の架け橋となれるように信頼関係にも努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>サービス利用前の段階で情報を収集し、スムーズなサービスが開始出来るように努めている。ご本人やご家族の思いや状況等を確認し、必要な支援を見極めケアの中に取り入れていくようにしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>入居者様の話をよく傾聴し、感情や表情、行動を見て「気付き」を大事にしている。本人が「出来ること」を大切に、喜びや感謝、楽しみを共有している。職員と入居者様がお互いに助け合う関係づくりを大切にしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の面会時や電話、毎月のお便り等にて、日常の様子や体調などを伝え情報を共有し、ご家族と協力して本人を支えていく事が出来るように関係づくりに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	墓参り支援、自治会の敬老会参加支援、買い物支援、自宅外出の支援などを通して、これまでに通っていた場所、馴染みの人間関係が続けられ、途切れないように支援している。	地域の友人や以前の職場の同僚が面会に来る利用者も居る。墓参りや馴染みの美容院へ行くなどし、これまでの馴染みの人や場との関係性の継続に取り組んでいる。遠方の親族にも手紙や電話で近況報告もしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日常的に、お茶や食事、団らんの時間などに職員も一緒に入り利用者様同士の会話が弾むように取り組んでいる。入居者様同士のトラブルになりそうな時はそっと職員が仲介に入り、関係が良好に保てるように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	亡くなられた時は通夜や告別式に参列している。退居後も、ご家族の方から連絡や訪問があり、話をする機会がある。ホーム外で会ってもその後の様子や故人の話をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者様の話をよく傾聴し、希望や思いを引き出すように努めている。感情や表情、行動の観察。ご家族からの情報で、本人の思いに添えるような対応をしている。	家族からの情報は貴重であり、利用者の言動や表情からも思いや意向の把握に努めている。大正琴や編み物、そろばんなど趣味の復活に繋がり生き甲斐や張り合いを持って生活している。利用者の自己決定や出来ることを大切にしたケアに努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境の把握に努めている。ご家族や入居者様からの情報を共有し、これまでの生活習慣が継続できるように支援している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様の生活のリズム（食事量、排泄、水分量、睡眠、体調、習慣）を把握、共有し各々に合った過ごし方を支援している。本人のペースを大事にしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日常の生活の中で、把握し介護計画を作成している。毎日ケアプランに沿った評価を行っている。職員会議では、プランの見直しをして意見交換をし、介護計画の作成に生かしている。	利用者や家族の意見、要望を把握し職員間で話し合い現状に即した介護計画を作成している。「施設サービス計画実施結果表」を基に毎日、詳細な評価を記録することでプランに沿ったケアの確認と状態把握に役立っており、プラン作成時にも反映されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	入居者様の身体状態の把握が出来るように、食事、水分摂取量、排泄、入浴、バイタルチェックの記録をしている。個別の記録には生活の様子や言葉、職員の気づきなどを記入し、情報を共有しながら介護計画の見直しに生かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	24時間医療連携を取り、医療ニーズの対応を行っている。他科受診時の付き添い、帰宅支援、外出支援、訪問美容など、必要に応じた対応をしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域での行事に参加し、近くの店に買い物や神社へ参拝に出掛けている。避難訓練を実施する際は、地域の代表の方にも参加してもらい地域の中で安全に充実した暮らしを楽しむ事が出来るように支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	人工透析を受けている入居者様は連絡帳で情報伝達している。他の方は月2回の定期受診をしている。夕方看護師が訪問し、健康管理も行っている。体調不良時はすぐに病院に連絡、対応ができる。	母体医療機関がかかりつけ医となり月2回の定期受診の他、医療ニーズに合わせた対応や、夕方は看護師による健康管理も行われている。夜間帯や緊急時の連携も密に取れる環境にあり、他科受診も家族やホームで状況に応じて柔軟に対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	平日は夕方の看護師訪問もあり体調管理が出来ている。病院が隣接している為、夜間帯も連携が図れ職員も安心して介護が出来ている。日常の関わりでの気づきを看護師に伝え、相談し、状況に応じて入居者様が適切な処置、医療が受けられるよう支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	ご家族の希望をお聞きして、病院との連携を図り、職員は毎日のようにお見舞いに伺ったり、入院中の状態報告を受けながら早期退院に向けた働きかけをしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合の指針を作成しており、契約時に時間を設け説明を行っている。重度化した場合には入居者様、ご家族の意思を尊重し最善の対応ができるように、病院看護師の協力を得ながら、ホームでの看取りも実施している。	重度化や看取りに関する指針を定め、入居時に家族に説明し理解を得ている。段階に応じ家族や主治医と話し合いの場を持ち、職員も方向性を共有しホームで出来る最大限の支援に取り組んでいる。看取りの経験も多数になり職員は出会いの縁を大切にしており最期まで支援したい思いを持っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署の実施する救命講習への参加等を定期的に行っている。また夜間時の救急対応についてはマニュアルを作成して、実践出来るように訓練してる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難訓練を行い、通報の仕方、消火器の使い方、避難場所の確認を行っている。地域の方の協力体制がある。</p>	<p>年に2回、昼夜間を想定し、消防署立ち合いの下、通報から避難誘導の一連の訓練を行っている。運営推進会議と合同で行う工夫もしており、自治会長や近隣に住む家族にも参加をもらい地域との協力体制も築いている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人格を尊重したプライバシー確保に努めている。トイレや居室に入る時はノックを心がけている。入居者様の事をスタッフ間で話す声の大きさに気を付けなければならないと感じる事がある。	日頃の声かけや対応については、ゆとりを持って接するように心掛けており、言葉使いや声のトーンにも気を配り、職員間で話し合いながら対応している。羞恥心には特に配慮し誇りやプライバシーを損ねない様に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様が自己決定できるように本人の希望を聞き出している。自己決定ができない時は環境を変えたり、表情や行動から察し、出来る限り自己決定できるように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様の思いを優先し、一人ひとりが自分のペースで自分らしく生活できるような支援、対応を心掛けている。入居者様の体調に合わせて無理のない生活支援をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	ご家族が衣類を持って来られ、希望に合わせて衣類を選んだり、更衣が出来るように支援している。行事ではお化粧をしたり、2カ月に1度カットをされる。こまめに更衣して清潔保持に努めている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	下ごしらえや、つぎ分けなどの準備、食後の茶碗洗い、お盆拭きを手伝って頂いている。個人用の飲み物やお菓子を本人の希望で購入食べられるように支援している。本人のペースに合わせて食事を摂って頂いている。	管理栄養士が作成した献立に従い栄養指導も受け、個々に応じ調理法を替えて状態に合った食事になっている。行事食も豊富で誕生日は希望をメニューに取り入れ手作りのケーキで祝っている。下ごしらえや茶碗洗いなど利用者は張り合いを持って行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	病院の管理栄養士による献立である。食事、水分量を記録し、個々に合わせて管理している。体重の増減に合わせて栄養体重管理も行っている。食事が摂れない方には栄養補助食品で捕食している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアの声かけ、介助を行っている。磨き残しや舌下の汚れは、ブラッシング介助を行い口腔内の清潔を保持している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を確認しながら、定期的なトイレ誘導、パット交換を行っている。トイレのサインを見落とさないように努めトイレでの排泄を支援する。	個々の排泄パターンやサインを職員間で共有し、なるべくトイレでの排泄の自立に向けた支援を行っている。オムツからリハビリパンツに改善した利用者も居る。都度、オムツの当て方の勉強会を開くなどし、ケアの統一を図ることで使用量を減らし、家族の経費軽減にも貢献している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェックを行い、便秘の把握をしている。便秘の及ぼす影響を理解し、水分補給、定期的な運動、マッサージにて出来るだけ自然排便があるよう支援する。数名下剤を使用している方もいらっしゃる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	基本は週3回の入浴である。体調に合わせ、希望のタイミングで入浴を行っている。入浴出来ない方には清拭をして清潔保持している。足浴や手浴をして血流改善に努めている。	家庭の個浴と変わらず、ゆったりと入浴が出来る環境にある。職員との会話や音楽を楽しみながら、リラックスできるように入浴剤も工夫している。室温を整えリスクへの対応にも配慮している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体調や状況で、落ち着ける場所で休息して頂く。日中は活動を多くし、夜は各々に合わせた就寝時間で休むよう支援している。夜間の体交、水分補給、寝具、室温、湿度調整も行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員が服薬の内容を把握できるように、薬情のファイルを作り、各々の薬内容や作用、副作用を確認出来るようにしている。臨時薬や薬の変更時はホワイトボードに記入し情報を共有している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご家族からも情報を提供して頂き入居者様一人ひとりの力を発揮してもらえる支援をしている。楽器、裁縫、塗り絵、貼り絵、折り紙、散歩、買い物等で気分転換を図っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族の協力ももらいながら、帰宅送迎、墓参り、買い物、ドライブ等へ出掛けている。季節の行事などにもお連れしている。天候や入居者様の心身の状態を見ながら外出支援を行っている。	地域行事の参加や多彩な外出が年間計画に組み込まれており、ホームに閉じこもらない生活に力を入れている。イルミネーション見学や鬼火たきなど夜間外出の取り組みは利用者や家族から好評を得ている。広大な敷地には公園もあり、日常的な散歩コースになっている。帰宅支援や買い物、墓参りなどの希望に応じ個別でも対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>本人の希望に応じて、ご自分で財布を持っている方もいらっしゃる。預かり金の方が多いが、カットや買い物の際にスタッフ見守り声かけでお金を出して頂き支払いをしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>入居者様の希望があれば、電話をかける介助をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。</p>		
52	19	<p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自然の光や風が入り居心地良く過ごせ、居間からは畑や庭園の木々が眺められる。居間、居室には季節の花々、写真や入居者様と作った飾り付けがされており、季節を感じる事が出来る。室内の温度、湿度も確認しながら居心地の良い空間造りに努めている。</p>	<p>リビングは明るく開放的である。時節の飾り物や窓越しの景色からは季節を感じ取れる。手作りの作品やスナップ写真を飾り利用者の日常生活が伝わる工夫をしている。見守りに配慮した対面キッチンからは調理の音や臭いも感じ取れ家庭的な雰囲気である。利用者は思い思いの場所でゆったりとくつろぎ居心地のよい共用空間になっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>窓辺にソファを設置し、気の合った入居者様同士で過ごせる場所がある。座席の位置は本人の希望や体調、歩行状態、入居者様の相性などに合わせて、過ごしやすい居場所の工夫をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には本人の馴染みの物、ご家族や思い出の写真、好きな物を飾っている。季節の変わり目には、衣類や布団の衣替え、整理整頓をし、居心地の良い環境づくりに努めている。</p>	<p>大正琴や編み物など趣味の品をはじめ愛読書やぬいぐるみなどを持ち込み、若い頃の写真を飾り昔を懐かしむ利用者も居る。個別性が感じ取れる居室造りになっており、空調環境にも気を配り、自宅の一室の様に安心して暮らせるプライベート空間になっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>廊下やトイレ、浴室には手すりが設置され、バリアフリーのため安心して車椅子や歩行での移動ができ、それぞれの力で自立した生活が送れるように工夫している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない